

神楽通信

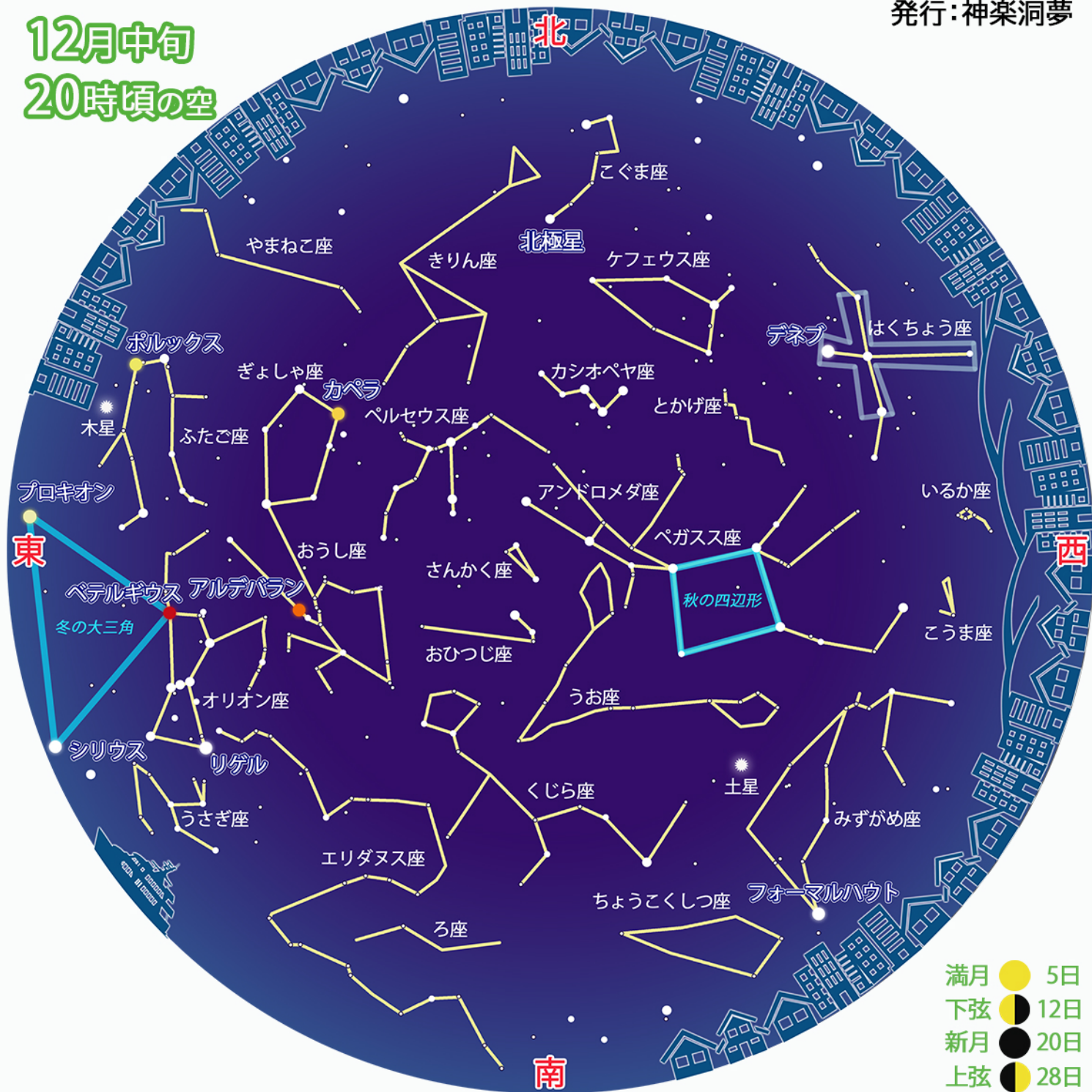
No.118

2025年

12月号

発行:神楽洞夢

12月中旬
20時頃の空



12月に入り、少しずつ夜空にも冬の星たちがそろい始めていますが、20時頃、西の空にはまだ秋の星たちだけでなく、夏の大三角をつくる星の一つ「デネブ」を見つけることができます。デネブから「はくちょう座」をたどると、星並びが十字架のように見えるため、クリスマスの時期に探すにはぴったりの星並びです。ぜひクリスマスの日には西の空にそびえ立つ大きな十字架の形を探してみてください。

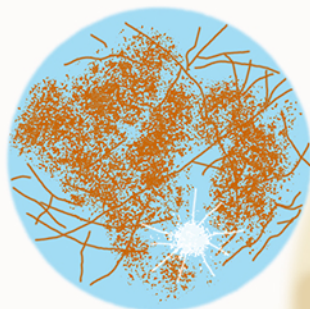
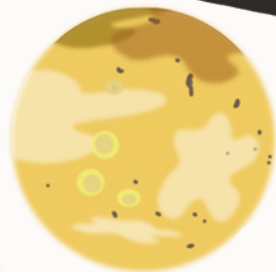
木星の衛星たち

太陽系の第5惑星「木星」には多くの衛星が発見されています。その数は70個以上。中でも有名なのが、「イオ」「エウロパ」「ガニメデ」「カリスト」の4つの衛星です。この衛星たちはイタリアの天文学者ガリレオ・ガリレイが発見したことから「ガリレオ衛星」と呼ばれ、望遠鏡で木星を観察すると、その衛星たちも一緒に見つけることができます。また木星はギリシャ神話に登場する「ゼウス」に例えられていることから、ガリレオ衛星やその他の木星の衛星には、ゼウスに関わりのある名前がいくつかつけられています。

ガリレオ衛星

『イオ』

大きさは月よりも少し大きく、火山活動が活発な衛星で、表面には硫黄を含んだガスが凍っており、黄色やオレンジ色に見えています。地球以外で初めて火山活動が発見された星でもあり、その火山活動の原因は木星の引力が原因で起こっているのではないかとされています。

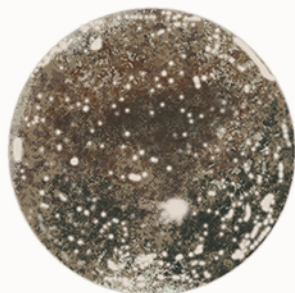
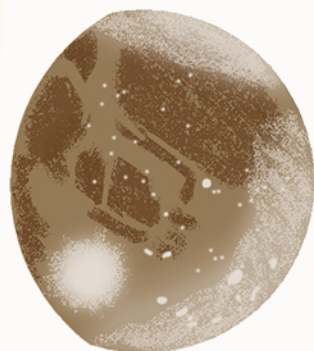


『エウロパ』

月よりも少し小さな衛星です。エウロパの表面は氷で覆われています。その厚さは、20kmほどあり、氷の下には海が存在するのではないかと考えられています。そのため、エウロパの内部には生命が存在するかもしれません。

『ガニメデ』

太陽系の衛星の中で一番大きな衛星です。表面は氷で覆われていて、クレーターがたくさんある部分と溝がある部分の2つの地形に分かれています。また地球のような磁場をもっていて、衛星として初めてオーロラが観測されました。ガニメデの地下にも海があるのではないかと考えられており、もしかしたら生命が存在するかもしれません。



『カリスト』

太陽系の中でも最もクレーターが多く、約40憶年ほど^{ちかくへんどう}地殻変動がない衛星です。そのため「静かな衛星」や「死んだ天体」ともいわれてきましたが、カリストの内部には塩水の成分が見つかっており、エウロパやガニメデと同じように生命が存在するかもしれない星です。

この4つの衛星たちには、大きさの違いだけでなく、それぞれ異なる特徴があります。望遠鏡で木星をのぞいた時には、ぜひガリレオ衛星も一緒に探してみてください。



Okasan Digital Dome Theater
神楽洞夢
KAGURA DOME

〒514-0032 三重県津市中央5-20 岡三証券グループ津ビル4階
<http://kagura-dome.jp> TEL. 059-221-3121 FAX. 059-226-1565